

エコアクション21 環境経営レポート

期間：2023年7月1日～2024年6月30日



発行日：2024年9月1日

太善工業株式会社



認定番号0013051

《目 次》

○環境経営方針	-----	1ページ
○取組の対象範囲	-----	2ページ
○実施体制図	-----	3ページ
○環境経営目標、環境経営計画	-----	4ページ
○環境経営目標実績結果と評価	-----	5ページ
○環境経営計画の取組結果とその評価	-----	6ページ
○次年度の環境経営目標、環境経営計画	-----	7ページ
○環境関連法規制等の遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無	-----	8ページ
○代表者による全体の取組状況の評価と 見直し・指示	-----	9ページ

太善工業株式会社

環境経営方針

基本理念

当社は、建築設備工事業という事業活動を通じて、暮らしやすい、豊かな街づくりをすすめます。お客様や地域の皆様への感謝の心を忘れず、限りある資源を大切にしながら社員一丸となって環境保全活動を推進してまいります。

行動指針

具体的に次の事項に積極的に取り組みます。

1. エネルギー使用量の削減・二酸化炭素排出量の削減
2. 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
3. 節水の推進
4. 省エネルギー型製品の提案
5. 環境に配慮した施工方法の選定

環境経営方針を公表し、環境関連法規、条例等の事項を遵守するとともに環境負荷削減による継続的改善に取り組みます。

制定 2019年8月1日
改訂 2022年9月1日

太善工業株式会社
代表取締役 阿野 善一

【取組の対象範囲】

○組織の概要

(1)名称及び代表者

- ・ 太善工業株式会社
- ・ 代表取締役 阿野 善一

(2)所在地

- ・ 本社・倉庫 香川県高松市出作町348番地1

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

- ・ 環境管理責任者 宮井里美
- ・ 連絡担当者 宮井里美
- ・ TEL 087-889-7121

(4)事業内容

- ・管工事業 ・電気工事業 ・機械器具設置工事業
- ・水道施設工事業 ・消防施設工事業

(5)事業の規模

- ・ 売上高 192百万円／2023年度
- ・ 工事の件数 約110件
- ・ 従業員 8人
- ・ 延べ面積 事務所 240㎡ 倉庫30㎡

(6)事業年度

- ・ 7月～6月

○認証・登録の対象範囲

登録事業所

太善工業株式会社 本社・倉庫

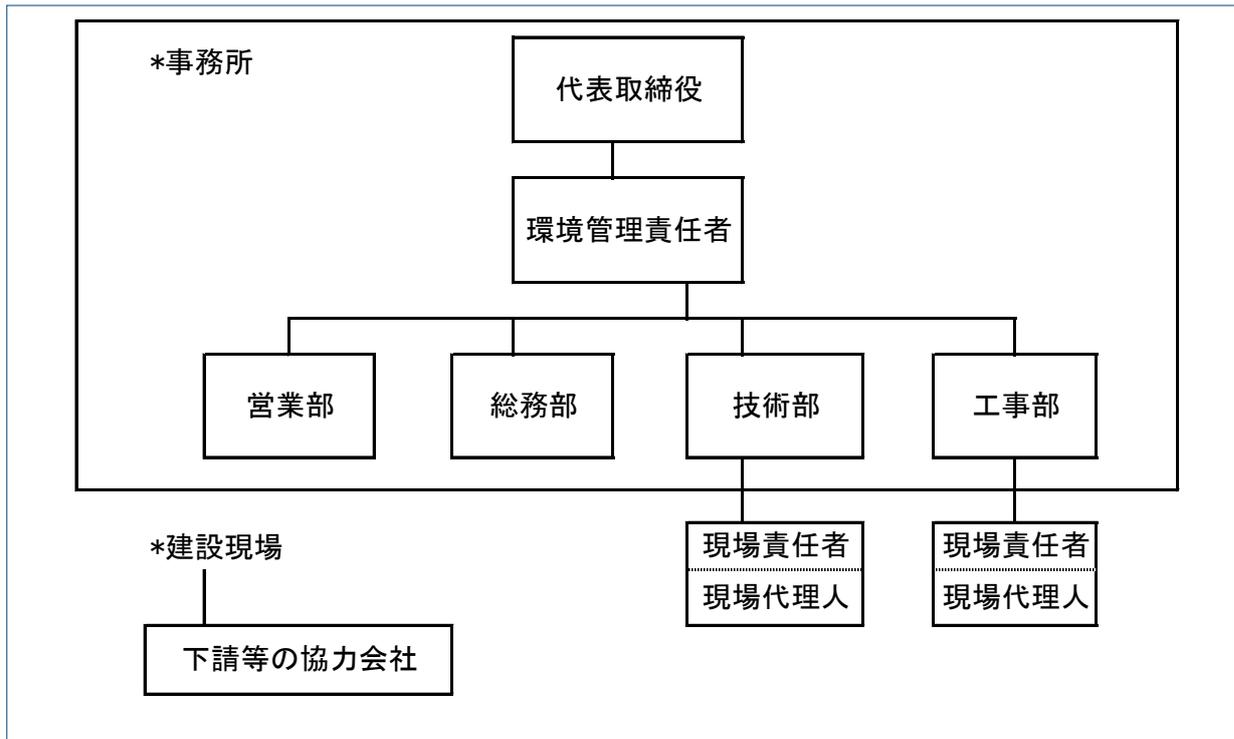
事業内容

管工事業、電気工事業、機械器具設置工事業、
水道施設工事業、消防施設工事業

取組期間

2023年7月～2024年6月

太善工業株式会社 実施体制図



	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムの実地に必要な、人、設備、費用、時間を準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・ 全従業員に対する教育・訓練の実施 ・ 環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・ 部門の特定された緊急事態への対応マニュアルの承認 ・ 環境経営レポートを確認し、承認 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・ 環境経営目標、環境経営計画書を作成 ・ 環境経営の取り組み結果を代表者に報告 ・ 環境経営レポートの作成 ・ 特定された緊急事態への対応マニュアル確認 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者の補佐 ・ 環境経営への取り組みの自己チェックの実施 ・ 自部門の特定された問題点の発見、是正、予防処置の実地 ・ 環境経営方針の理解と環境活動への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

【環境経営目標】

○中・長期目的・目標

目的	単位	目 標			
		基準年(2021年)	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量の削減 *1	kg-CO2	14,264	14,121	13,979	13,836
・電気使用量削減	kWh	9,937	9,838	9,738	9,639
・ガソリン使用量削減	L	3,684.45	3,647.61	3,610.76	3,574.00
一般廃棄物排出量削減	kg	—	—	120	110
産業廃棄物排出量削減	kg	42,995	42,565	42,135	41,705
水使用量削減	m3	100	100	100	100
組織本来の取組 *2	実施率(%)	100%	100%	100%	100%

*1. 電力のCO2発生量については、

環境省公表四国電力2020年実績調整後排出係数0.574 (kg-CO2/kWh) を使用した。

*2. 組織本来の取組として次の項目に取り組みます。

- ①環境に配慮した施工方法の提案
- ②省エネ仕様の機器の提案
- ③省エネ機器・施工方法の情報収集

*3. 化学物質の使用はありません。

※今年度は2023年度の目標に取り組む

【環境経営計画】

・取組期間 2023年(2023年7月 ~ 2024年6月)

		具体的実施項目
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す ②適正温度の維持 ③不在時の消灯
	ガソリン使用量削減	①アイドリングストップの徹底 ②エコドライブの励行 ③車両の定期点検
一般廃棄物排出量の削減		①コピー用紙の裏面利用 ②ペーパーレス構築の継続
産業廃棄物排出量の削減		①廃棄物の分別の徹底 ②協力会社への指導の実施
水使用量の削減		①節水シール掲示 ②屋外ホース散水ノズルの使用
組織本来の取組		①環境に配慮した施工方法の提案 ②省エネ仕様の機器の提案 ③省エネ機器・施工方法の情報収集

【環境経営目標実績結果と評価】

目的	単位	基準年(2021)	目標	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量の削減 *	kg-CO2	14,264	13,979	14,276	98%	×
・電気使用量削減	kWh	9,937	9,738	9,827	99%	×
・ガソリン使用量削減	L	3,684.45	3,610.76	3,717.31	97%	×
一般廃棄物排出量削減	kg	—	120	120	100%	○
産業廃棄物排出量削減	kg	42,995	42,135	32,670	129%	○
水使用量削減	m3	100	100	118	85%	×
組織本来の取組 *2	実施率(%)		100%	70%	70%	×

*1. 電力のCO2 発生量については、

環境省公表四国電力2020年実績調整後排出係数0.574 (kg-CO2/kWh) を使用した。

*2. 組織本来の取組として次の3項目に取り組みます。

- ①環境に配慮した施工方法の提案
- ②省エネ仕様の機器の提案
- ③省エネ機器・施工方法の情報収集

*3. 化学物質の使用はありません。

○コメント(事務所と現場を記述)

二酸化炭素排出量の削減	電気の使用量は取り組みを実施しながらも、わずかに目標達成とはならなかった。ガソリンの使用量も未達成となっている。エコドライブやアイドリングストップには務めているつもりだが、気を引き締めて、今一度周知もしていきたい。
産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物については、資材の梱包を簡素化したことと、材料の適正な拾い出しで廃材を減らしたことが要因で大幅に削減できた。
水総使用量の削減	今期は猛暑で気温の高い期間が長かったため、植栽への水やりで使用量が増加したと思われる。
組織本来の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・有機溶剤にて接合(接着)する配管材をメカニカル継手による接合の配管材への変更を提案した。 ・新築、改修問わず、設計図にて最新の省エネ機器を選定されているので、提案はできていない。 ・協会主催の勉強会へ出席した。

【環境経営計画の取組結果とその評価】

(具体的取組内容と月次実施報告)

・取組期間 2023年7月 ～ 2024年6月

		具体的実施項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	評価
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す ②適正温度の維持 ③不在時の消灯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ガソリン使用量削減	①アイドリングストップの徹底 ②エコドライブの励行 ③車両の定期点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般廃棄物排出量の削減		①コピー用紙の裏面利用 ②ペーパーレス構築の継続	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業廃棄物排出量の削減		①廃棄物分別の徹底 ②協力会社への指導の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水使用量の削減		①節水シール掲示 ②屋外ホース散水ノズルの使用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
組織本来の取組		①環境に配慮した施工方法の提案 ②省エネ仕様の機器の提案 ③省エネ機器・施工方法の情報収集	×	×	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

○: 計画通り実施
△: 一部出来なかった
×: 出来ていない

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント
二酸化炭素削減	取組項目はできている。その中でも照明やエアコンのこまめなオンオフは日頃からよくできている。新入社員も当初は忘れていたときもあったが、できるようになっている。また、車両の点検は4か月に一回行っている。
廃棄物削減	一般廃棄物は、コピー用紙の裏紙使用については、各々が自分の使った用紙の仕分けをし、コピー機の専用トレイに入れている。産業廃棄物については、下請企業にも協力してもらい現場事務所での廃棄物の分別はできている。
水使用量削減	取組はよくできている。引き続き、節水の掲示をし蛇口の締め忘れをしないようこころがける。
組織本来の取組	施工方法の提案、情報の収集はある程度できたが、省エネ機器の提案が環境経営目標実績のコメントの通り、できなかった。省エネに関しては、研究・勉強し継続して行う。組織本来の取組は見直す必要がある。

【次年度の環境経営目標】

※次年度は2024年度の目標に取り組む

ただし、組織本来の取組のみ目標を変更し、手戻り工事削減のために

次の①②③の実施を行う。

- ①着工前の会議を丁寧に実施する
- ②工程会議実施の徹底
- ③コミュニケーションの強化

【次年度の環境経営計画】

・取組期間 2024年7月 ～ 2025年6月

		具体的実施項目
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す ②適正温度の維持 ③不在時の消灯
	ガソリン使用量削減	①アイドリングストップの徹底 ②エコドライブの励行 ③車両の定期点検
一般廃棄物排出量の削減		①コピー用紙の裏面利用 ②ペーパーレス構築の継続
産業廃棄物排出量の削減		①廃棄物分別の徹底 ②協力会社への指導の実施
水使用量の削減		①節水シール掲示 ②屋外ホース散水ノズルの使用
手戻り工事の削減		①着工前の会議を丁寧に実施する ②工程会議実施の徹底 ③コミュニケーションの強化

【環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無】

適用法令	規制内容	遵守状況
廃棄物処理法	委託業者との契約、マニフェストの管理、産業廃棄物の保管	遵守
PCB特別措置法	廃PCBの保管及び処理。所有者は、毎年度6/30までに保管・処理の状況を届出	遵守
建設リサイクル法	発注者への計画説明、再資源化の結果報告	遵守
大気汚染防止法	解体・改修工事に伴う「特定建築材料(石綿等)」の除去作業	遵守
騒音規制法	指定地域の確認及び届出	遵守
振動規制法	指定地域の確認及び届出	遵守
家電リサイクル法	指定家電の適正な処理を委託業者へ依頼	遵守
フロン排出抑制法	簡易点検の実施・記録・保存 廃棄時の適正回収、破壊措置依頼義務	遵守
建築基準法	換気設備の義務付け、ホルムアルデヒドに関する規制	遵守
グリーン購入法	環境に配慮した事務用品の購入	遵守
香川県環境基本条例	事業活動全般	遵守
香川県生活環境の保全に関する条例	事業活動全般	遵守
高松市環境基本条例	事業活動全般	遵守

当社に適用される環境関連法規等の違反はありませんでした。また、関係当局より違反等の指摘も過去3年間ありません。

【代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示】

今回の評価は、当社がエコアクションに取り組み始めて約6年目の評価となります。

先ず二酸化炭素の削減ですが、前年度に挙げた目標値より電気の使用量で0.9%・ガソリンで3%の増加、二酸化炭素の削減は全体で約2.1%の増加となりました。

期間中、現場の配管加工を会社倉庫にて製作する場面が増加したことにより工作機器の電量使用量が増加したことと、現場が分散した事により社用車の使用率が増加しガソリンの消費が増加したことが削減を達成できなかった大きな要因です。この点については納得できることです。また産業廃棄物の削減は目標値より29%の削減を達成いたしております。この結果は資材の配達時に、各関係機関に出来るだけ梱包等を簡素化して配達してもらうよう依頼したこと、そして使用材料の発注時に正確な数量の拾い出しを心掛け、出来るだけ廃材を減らしていったことが要因になったと考えます。

水使用量は18%の増加となりましたが、その原因は、夏の猛暑にて会社の植栽に必要な散水が増加したものと思われれます。来期も猛暑が予想されますので、造園業者の指導を仰ぎ、植栽に要する水使用量を減らす工夫をしてまいります。

また、社員の節水に対する意識は、年々向上しており、そのことは継続してまいりたいと思います。

組織本来の取組以外はできていますが、組織本来の取組に関しては、官公庁の仕事が多いので「提案」が難しいため、次年度は手戻り工事の削減に取り組めます。

次年度の環境経営目標は当初定めた2024年度の目標に取り組めます。ただし、組織本来の取組は手戻り工事削減に改訂します。環境経営計画は組織本来の取組以外は継続します。また、実施体制と環境経営方針も継続します。

最後に今回までの6年間、環境対策を実施してきましたが、7年目に向けて初心に帰り、社員一同新たな意識をもって取り組んでいきたいと、決意いたしております。

2024年8月31日
代表取締役 阿野 善一